

カラフルなおサルをめぐる奮闘記

Struggling with the care of a colorful baby monkey

身体の各部位で毛色が異なるカラフルなサル、アカアシドゥクラングル。木の葉が主食のこのサルをよこはま動物園では開園当初から飼育しています。飼育していたオス2頭のもとに待望のメスが来園したのが2012年。そこから繁殖に向けた取り組みが動き出しました。以来2014年に2頭の子ザルが人工哺育で、2015年には新たな2頭が母親の元で育っています。手探りだった人工哺育を中心にカラフルなおサルをめぐる奮闘記をお話します。

川口芳矢 よこはま動物園

Yoshiya KAWAGUCHI Yokohama Zoological Gardens



1999年4月、（公財）横浜市緑の協会に採用され、開園時からよこはま動物園に飼育員として勤務。2007年から2年間、ウガンダ共和国のチンパンジーの森へ青年海外協力隊員として休職赴任。復職後、よこはま動物園でチンパンジー担当となる。2011年からアカアシドゥクラングルなどアジアのサル類を担当。
